

ゲーム要素を取り入れた防災訓練で、参加者増を促進！

新型コロナウイルスの流行により自治会・町内会主催のイベントが減って地域交流の場も少なくなり、自治会・町内会とのつながりが希薄になってしまったと感じていました。

そこで、つながりを取り戻すための動きとして、今年度はこどもに焦点をあて、小中高生がクイズなどの遊びを通じて防災を学べるイベントを、地元の防災会とこども会が協力して企画・実施をしました。こどもを通じて親御様などの若い世代にも町内会のイベント運営や現場を実際に見て、体験していただき、町内会のイベントを身近に感じていただけたと思います。



イベントに協力していただいた方からは、「このような防災イベントなら気軽に参加できるし、こどもと一緒にクイズ形式で消火器等について楽しく学べてよかった」との声をいただきました。

今回は、イベント開催の2週間前に告知したにもかかわらず、約230の方が参加をしてくれました。今後はイベントの企画を計画的に進め、参加型のイベントを増やしていき、地域の皆様により町内会活動を身近に感じ、満足していただけるようにしたいと考えています。

企画・運営から見直し、誰もが楽しく参加できる運動会へ！

従来の高洲地域3自治会合同運動会では、選手集めや昼食の準備、参加人数の把握が町内会役員の負担となっていました。

4年ぶりの開催となった今年の実行委員会の全体会議では、役員全体が運動会運営の大変さを経験しており、従来の運動会とは異なる方向性で運営していくことを決定しました。

町内会対抗の競技をこどもから年配の方まで誰もが一緒に参加できるパン食い競争や玉入れなどに変更し、幼稚園の鼓隊演奏をお願いして、大勢の親子が参加できるようなプログラムとしました。運動会自体は午前中みの開催とし、昼食については各町内で対応をお任せしました。

参加対象がこどもの競技数は減らさずに、誰でも参加できるような競技を増やしたことで、こども達や若い世代が多く集まりました。また、町内会対抗の個人競技を減らしたことで賞品や参加賞の数も減り、競技者の選出の苦労も軽減することができました。運動会役員経験者が少ない中で、運営側も参加者側も楽しめる運動会が開催できたと感じています。



今回の運動会を機に、役員の負担を軽減しながら、「誰もが楽しみ、参加したくなるような運動会」を目指し、その都度出た意見を参考にしながら、いつまでも地域の運動会が続いていけるように話し合いを進めていきたいと思っています。





懇親会で町内コミュニケーションの向上を！

多くの人とコミュニケーションを取り、町内の絆を高め、町内会についての意識づけをしていくことを目的に、懇親会として紅葉狩りのイベントを実験的に開催しました。

親の時代から続く絆を土台に、町内の人とコミュニケーションを高めるための企画です。

当日は28世帯、55名（内、こども11名）が参加し、引っ越してきて日が浅い人から、何十年と住んでいる人まで、参加者は様々だが、お互いに顔と名前を憶えて帰ることを目指して、一人ずつの自己紹介や我が家のPRなどを行い、イベントは和気藹々とした雰囲気で行われました。

参加者の多くからは、企画に対して好意的な感想が寄せられ、「自分たちだけで行うのは難しいが、誰かが音頭をとってくれたらうれしい。」との意見もありました。

今後はもっと多くの人に参加を呼びかけ、輪を大きくし、より住民が楽しめる町内会にしていくことを目指していきます。



負担軽減&自由参加の交流イベントを企画！



岡部第3自治会では、岡部地区南部の8町内会、約1,300世帯で活動しています。数年前までは、地域住民の交流のため、公園でのイベントやハイキング、3世代交流のグランドゴルフなど年数回の活動を役員主体で実施してきました。

しかし、新型コロナウイルスによる活動自粛を機に、より住みやすい地域づくりにしていくことを目的に、今後の活動について見直し、①役員・参加者両者の負担を軽減する②開催頻度を1回に集約し、自由参加にする③密にしない、の3つの方針

を基軸に、今後の活動を計画することとしました。

コロナ禍ではありましたが、令和4年度から、この方針に沿って活動を再開し、皆が楽しめるイベントにしたいと考え、地域住民から自由な発想で楽しめるゲーム・スポーツ・趣味などを募集し、応募者と自治会役員が半年かけて実施内容を検討し、「3自たのしい会」と称して内谷三輪公園でイベントを企画しました。

イベントは、ターゲットバードゴルフ、ストラックアウト、町内会クイズ、みかん収穫体験など様々なゲームを、参加者と役員が一緒になって楽しめた有意義なものとなりました。

この地域は、良い活動を持続させたいと考える自主的活動団体も多く、特に、5つの自治会協力団体の活動は地域活性化に繋がっていると思います。今後も役員だけでなく、地域全体での活動ができればありがたいです。

団体組織を活用し、 地域コミュニティに 活力を！



「地域の救護チーム」の協力による安心イベントの開催！

近年は健康志向が高まり、スポーツ活動を楽しむ住民が増加してきています。また、自治会・町内会イベントへの高齢者の参加も促しており、様々なイベントで幅広い年齢層の方が参加してくれています。イベント主催者としては、多くの方に参加していただけることは非常にうれしいことですが、それと同時にイベント時における怪我や病気の救急対応が心配事となっています。

そこで、主催者も参加者も安心してイベントに参加できるよう、平成29年度からイベント会場での救護サポート体制の整備・活動を開始しました。現在の「広幡ヘルスサポートネットワーク」は、ボランティアの看護師12名で構成されており、自治会のイベントにおいて怪我や病気などの対応をしていただいています。救護等に必要薬剤や備品などは自治会で購入し、管理はボランティアの代表者をお願いをしています。

過去には、熱中症や怪我等を素早く適切に処置していただき、大事に至ることなく済んでいます。主催者は、安心してイベントを計画・実行でき、参加者は、安心してイベントに参加できるため、「広幡ヘルスサポートネットワーク」は非常に心強い存在になっています。今後はボランティアの皆様が増え、防災訓練等の他の行事にも協力していただけるようになればと思っています。

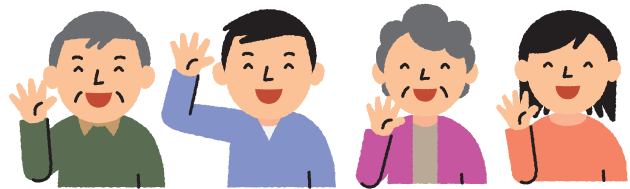


団体活動を通じた、人材発掘・人材育成！

町内会の行事において、一人の力で出来るものではありません。自治会・町内会内のつながりを新たに作り、また、保つために、本地区には歴史と伝統がある「藤枝大祭り」があり、住民を結束させる非常に重要なイベントだと思っています。また、藤枝第3自治会の小坂町内会では、40年以上前から老人会を「お姫平保勝会」として引き継いでいます。この団体は今では若い人たちが中心となり、行政からの委託事業として、年3回の水道部用地内の草刈りを行っています。

このような行事の運営による横のつながりが、強いリーダーシップを発揮する人材育成につながり、役員選考難を緩和していくと期待しています。実際に、数年先の町内会長の選任も暗黙の了解ではありますが進んでいます。

新たな人材発掘・人材育成の一助となる行事や活動は、横のつながりを強めることができるため、持続可能な地域自治のためには非常に有効な手段であると思います。今後も教育の大切さ、人間形成の大切さを意識し、自治会・町内会運営をしていきたいです。



自治会協力団体を活性化！



青島第7自治会内には各諸団体があり、それぞれが実行委員として催行する自治会行事(夏祭り、スポーツ大会ほか)があります。近年は、コロナや高齢化の影響により、会員の減少が顕著になり弱体化が進んでいます。そのため、これまで各諸団体内の人員で賄ってきたものが、自治会・町内会役員への動員が必要となり、自治会・町内会の負担が増加し、弱体化に繋がってしまっている状況です。

そこで、団体の活性化を目的として、敬老事業とは別に「敬老の集い」という名称で、諸団体の「志太おもとクラブ」、「志太ふれあいサロン」を対象に懇親会を開催しました。また、自治会役員は

志太グラウンド・ゴルフ愛好会主催の大会に参加し、競技や表彰式、懇親会で交流を深めました。

参加者からは「良かった」、「来年も開催して欲しい」との声をいただきました。今回は初めての試みであったため、このイベントが各諸団体の活性化のきっかけになればと自治会の後援で呼びかけてきましたが、今後は、自治会と各諸団体の両方向から活性化を図っていくことができると考えています。

草刈り団体を組織し、ラジコン式草刈り機【神刈】を活用!

以前は、年に一度、地域の全家庭から1名の動員が掛けられ、草刈り清掃を実施していましたが、いろいろな事由で草刈り清掃が自然消滅してしまいました。しかし、管理されない土手には、雑草やツル等が繁茂し、水辺の殆どが見えなくなる状態となってしまいました。それを見かねた近隣住民が自主的に草刈りを行い、また、他の住民が市に願い出て、自宅周辺の草刈りや管理を始めました。

平成22年、市や県に相談した際、草刈りを地域住民が実施することで、刈り込み面積に応じて補助があり、市内の他の地域では既に実施している所が有ることを聞き、青南町下町内会にて人集めをして、4つのグループでスタートしました。

最初は、草刈機等の機材も少なかったため、県の土木課から機材を借用したり、自治会で新たに購入してもらい、徐々に機材を増やしてきました。

また、メンバーを増やして行き、平成24年には青南町下リバーフレンドシップとして藤枝市に登録し、栃山川右岸の草刈を、年3回(6月・9月・11月)17名の会員で行うようになりました。

令和4年6月7日には、藤枝市が導入したラジコン式草刈り機【神刈】のデモンストレーションを当地区で開催し、大好評の反響をいただきました。作業効率も良く時間短縮できると、当地区会員からも大好評で、今後の活動には主体として有効活用して行きたいという意見が大多数でありました。

また、現在では、自治会役員でラジコン式草刈り機を使用して活動していますが、青南町上町内会でも組織結成の準備を進めており、今後は両町内会で足並みをそろえて、河川愛護・環境美化に町内全体で取り組んで行きたいと思えます。



女性グループ「ブルーライトの会」を結成!

自治会・町内会に興味を持っていただき、自治会・町内会役員の担い手不足や、女性活躍を推進することを目的に、何人かの女性に声をかけ、女性たちでいろいろなイベントや行事を企画してもらいながら、自治会・町内会の活動をPRしていくチーム「ブルーライトの会」を実験的に構成しました。

ブルーライトの会は、月に1～2回の会合を持ち、女性ならではの視点で、イベント等を企画し実施しています。イベント当日は、残念ながら大雨により中止となりましたが、ブルーライトの会が企画した蓮華寺池の散策には、約20世帯という多数の申し込みがありました。

また、自治会の行事(イベント)に参加し、感想や意見を自治会に伝え、応援してくれています。

女性の皆さんは、家での家事、こどもの事、親の介護など大変忙しく、まとまった時間が取れない中、何とか続けていこうとする気持ちを持ち続けてくれています。安定した活動ができるよう粘り強くブルーライトの会を応援していきたいと思えます。

いつの日にか、ブルーライトの会から自治会・町内会の役員が出てくれることを期待しています。



地域活動活性化のためのワークショップを開催！

岡部町の朝比奈地区は玉露茶の三大産地の一つであり、平成3年に玉露茶などを楽しめる「玉露の里」が開設され、これを機に、本自治会では全7町内会で組織する「日本一の玉露の里づくり協議会」を立ち上げ、「玉露の里」の運営とともに、観光資源の発掘、イベントの開催や6次産業化への取り組みなど地域の活性化に繋げる様々な活動を行ってきました。

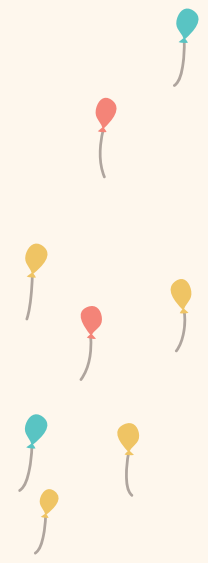
しかし、現在は、様々な事情により年1回の「いきいき祭り」の開催に留まっています。こうした中、昨年「朝比奈龍勢・昆虫館」がオープンし、これにより、本地区の誇る「玉露茶」と「龍勢」に係る拠点が整ったことから、これらを活かしながら地域振興活動への機運を再び高めていく必要があります。

そのため、まずは、地域の活力を高めるための目標とその実現に向けた短・中・長期的な取り組みを整理すべく地域内の男女20名がワークショップ形式により検討を進めています。

今後は、提案される具体の活動を地域内で共有し、着実に持続性をもって行われるよう地域の結束を深めるとともに、牽引する人材の発掘・育成にも注力したいと考えています。



発行年月日：令和6年3月
 発行：藤枝市
 編集：藤枝市 市民協働部 協働政策課
 住所：〒426-8722
 静岡県藤枝市岡上山1丁目11-1
 電話：054-643-3189(直通)
 FAX：054-643-3327
 メール：kyodo@city.fujieda.shizuoka.jp



藤枝市
Fujieda City

